

天来の会(旧大璞会)の歴史

元号	西暦	事項	
昭和	14	1939	1月4日、比田井天来他界。 8月6日～10日、「天来遺墨展」を大日本書道院展に併催。上野の東京府美術館(現在の東京都美術館)の三室を使い、30歳代から絶筆まで、百数十点の作品を展示。
	15	1940	北鎌倉建長寺に「天来先生碑」建立。上田桑鳩書、建設委員長は武田秀雄、副委員長は田代秋鶴と鈴木翠軒。5月5日除幕式。
	37	1962	「天来遺業展」日本橋高島屋。「展開」と題して、門人の作品も展示。同展図録『比田井天来』(書学院同人会編・二玄社発行)。
	43	1968	長野県望月町(現在は佐久市)の天来生家に「比田井天来先生生誕之地」碑建立。桑原翠邦書。
	44	1969	書学院同人会が比田井天来墓参。寄せ書き。
	47	1972	「天来生誕百年展」。日本橋三越。比田井天来門流展を併催(書学院同人会・毎日新聞社主催)。同展図録『生誕百年記念・比田井天来作品集』。書学院同人会編集・発行。
	50	1975	長野県望月町に、文部省認可の初の書道専門美術館「望月町立天来記念館(現在は佐久市立天来記念館)」開館。書学院同人と書道界の方々の尽力により、企画当初の10倍以上の予算となり、大規模の建築物となった。
	51	1976	書学院同人を中心に懇親会を開催。第2回からは「大璞会懇親会」の名称になり、11回まで毎年開催。(その後についての詳細は不明)
	52	1977	「天来の会」を発展させて、天来の別号(大樸・大璞)にちなんで「大璞会」として発足。
	55	1980	「比田井天来周辺の作家たちによる第一回大璞会書展」。東京セントラル美術館。
	60	1985	「比田井天来周辺の作家たちによる第二回大璞会書展」。東京セントラル美術館。
	63	1988	「比田井天来周辺の作家たちによる第三回大璞会書展」。東京セントラル美術館。
平成	4	1992	「比田井天来生誕120年記念 第四回大璞会書展」。天来記念館・望月町福祉センター(現在は駒の里ふれあいセンター)。
	6	1994	「大璞会」を以前の名称「天来の会」に変更。『信濃川治水紀功碑』発行。
	9	1997	「現代書の父 比田井天来とその展開」展。天来の会主催。東京セントラル美術館。 『瀧本・栗林二翁頌徳碑』。天来の会発行。
	18	2006	天来生家の裏山に、天来・小琴と門下の石碑、9基を建立する「天来自然公園」を企画し、設立に協力。
	20	2008	「比田井天来門流展」。佐久市役所望月支部。天来の会主催。インターネットで作品公開。
	21	2009	天来生誕地、長野県佐久市で「第一回天来祭り」。NPO法人未来工房もちづき主催・天来の会協力。以後毎年開催。
	22	2010	長野県佐久市の新市発足五周年記念特別企画「現代書道の父・比田井天来」展(佐久市立近代美術館)と時期をあわせて、「比田井天来門流展」。佐久市立天来記念館。天来の会主催。
	24	2012	「第一回 比田井天来・小琴顕彰 佐久全国臨書展」。佐久市・佐久市教育委員会主催・天来の会共催。佐久市立近代美術館。以後毎年開催。
31	2019	比田井天来没後80年記念「天来の会書展」。東京銀座画廊美術館。	